

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和 7年 6月 2日

鹿児島市長
下鶴 隆央 殿



提出者

住 所 鹿児島市草牟田二丁目2番7号

氏 名 米盛建設株式会社

代表取締役 米盛 庄一郎

電話番号(本社) 099-226-0228

(東開事業所) 099-298-1234

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	米盛建設株式会社
事業場の所在地	鹿児島市草牟田二丁目2番7号
計画期間	令和 7年 4月 1日 ~ 令和 8年 3月 31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	大分類：建設業 中分類：総合工事業 小分類：一般土木建築工事業
② 事業の規模	元請完成工事高 24億
③ 従業員数	135人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	<pre> graph LR A[各事業場で発生した産業廃棄物] --> B[収集・運搬 (委託または自社)] B --> C[中間処理場 (委託)] B --> D[最終処分場 (委託)] C --> E[再生材] C --> F[有価物] D --> F </pre>

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

別紙1のとおり

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類 別添内訳書のとおり

排 出 量 別添内訳書
【A】

t

(これまでに実施した取組)

1. 産業廃棄物の発生を抑制した施工方法を検討する。
2. 発生した産業廃棄物は可能な限り分別し再生利用する。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類 別添内訳書のとおり

排 出 量 別添内訳書
【B】

t

(今後実施する予定の取組)

資材の梱包材の省力化を推進し、産業廃棄物の発生を抑制する。

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
がれき類、木くず、廃プラスチック類、金属くず、ガラコン、紙くず、汚泥、繊維くず等に分別を積極的に行う事を各作業所で推進している。

② 計画

(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
混合廃棄物の分別を推進して、リサイクルできるものを増やしていく。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別添内訳書のとおり	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	別添内訳書【C】	t
	(これまでに実施した取組) ・特になし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別添内訳書のとおり	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	別添内訳書【D】	t
	(今後実施する予定の取組) ・特になし		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別添内訳書のとおり	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	別添内訳書【E】	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	別添内訳書【F】	t
	(これまでに実施した取組) ・特になし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別添内訳書のとおり	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	別添内訳書【G】	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	別添内訳書【H】	t
	(今後実施する予定の取組) ・特になし		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

① 現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別添内訳書のとおり	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	別添内訳書【I】	t
	(これまでに実施した取組) ・特になし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別添内訳書のとおり	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	別添内訳書【J】	t
	(今後実施する予定の取組) ・特になし		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別添内訳書のとおり	
	全処理委託量	別添内訳書【K】	t
	優良認定処理業者への処理委託量	別添内訳書【L】	t
	再生利用業者への処理委託量	別添内訳書【M】	t
	認定熱回収業者への処理委託量	別添内訳書【N】	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	別添内訳書【O】	t
	(これまでに実施した取組) 各現場で発生する廃棄物は、出来るだけ再生利用できる中間処分業者に委託している。		

産業廃棄物(特別管理産業廃棄物)処理計画書 廃棄物の種類が複数ある場合この表を使用してください

別添内訳書

(お願い:2種類までは計画書に記載することができですが、集計の都合上、なるべくこの表をご使用ください)

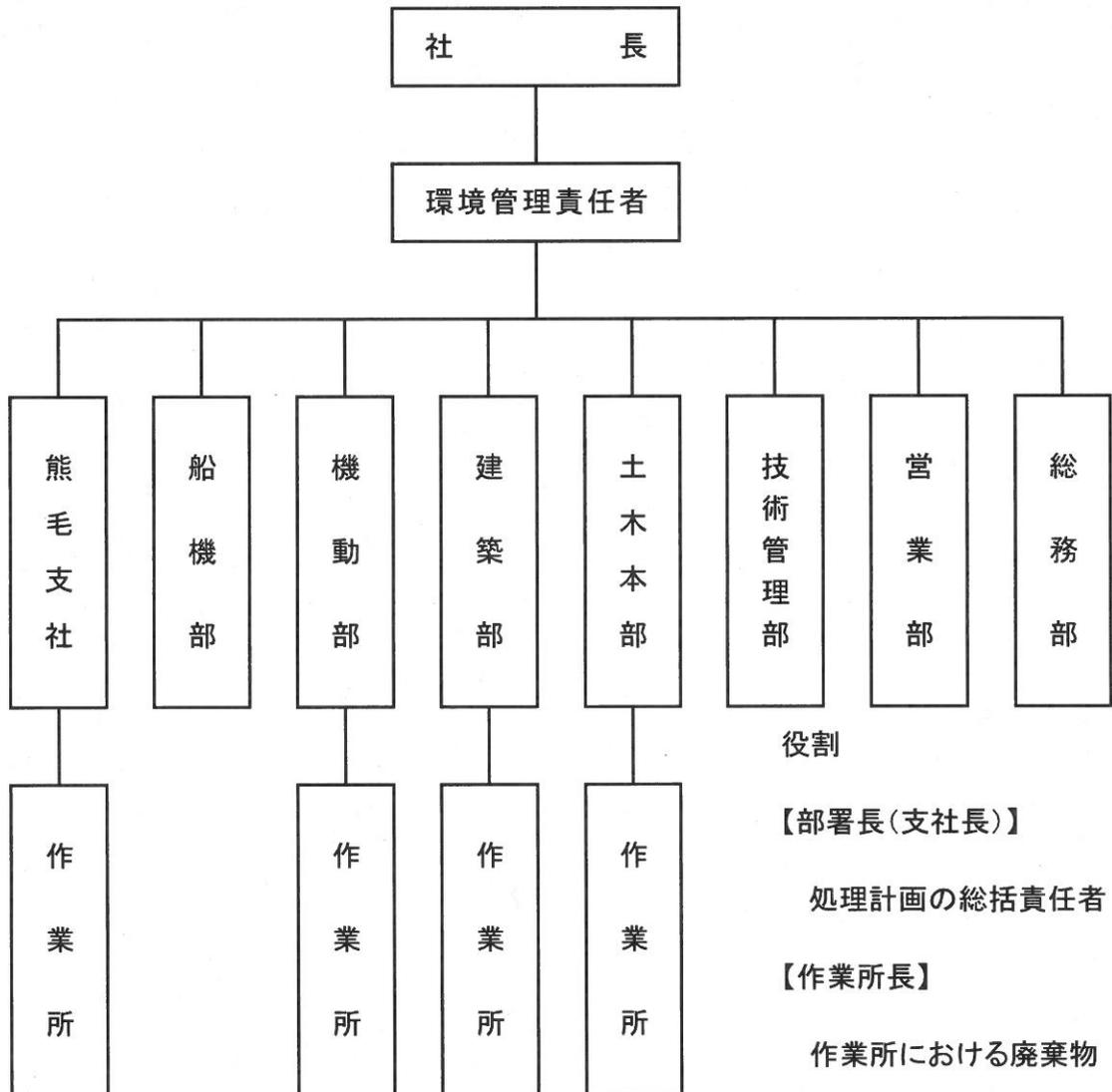
数字(t)

廃棄物の排出の抑制に関する事項	がれき類	木くず	廃プラスチック類	金属くず	ガラ・コン	紙くず	汚泥	建設混合廃棄物(※)	廃油	繊維くず	合計
①現状(前年度実績) 排出量【A】	4,508	20	21	1	32	0	3	79	0	2	4,666
②計画(今年度目標) 排出量【B】	2,200	10	10	0	15	0	2	40	0	1	2,278
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項											
①現状(前年度実績) 自ら再生利用を行った量【C】	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
②計画(今年度目標) 自ら再生利用を行う量【D】	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項											
①現状(前年度実績) 自ら熱回収を行った量【E】	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
②計画(今年度目標) 自ら熱回収を行った量【G】	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投棄処分に関する事項											
①現状(前年度実績) 自ら埋立処分を行った量【I】	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
②計画(今年度目標) 自ら埋立処分を行う量【J】	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
産業廃棄物の処理の委託に関する事項											
①現状(前年度実績) 全処理委託量【K】	4,508	20	21	1	32	0	3	79	0	2	4,666
内訳 優良認定処理業者へ処理を委託した量【L】	1,675	0	6	1	8	0	0	39	0	1	1,730
内訳 再生処理業者へ処理を委託した量【M】	2,823	5	0	0	21	0	3	0	0	1	2,853
内訳 認定熱回収業者へ処理を委託した量【N】	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
内訳 認定以外の熱回収業者へ処理を委託した量【O】	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
②計画(今年度目標) 全処理委託量【P】	2,200	10	10	0	15	0	2	40	0	1	2,278
内訳 優良認定処理業者へ処理を委託する量【Q】	70	10	10	0	15	0	2	40	0	1	148
内訳 再生利用業者へ委託する量【R】	2,130	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,130
内訳 認定熱回収業者へ処理を委託する量【S】	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
内訳 認定以外の熱回収業者へ処理を委託した量【T】	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※ガラ・コン=ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず(廃石膏ボードもガラ・コンの項目です)

※建設系の廃棄物で、品目ごとの仕分けが可能な場合は、建設混合廃棄物として記入してください。

管理体制図



役割

【部署長(支社長)】

処理計画の総括責任者

【作業所長】

作業所における廃棄物

管理の責任者

協力業者への指導・教育

排出量の管理

【技術管理部】

各部署からの資料の取り纏め

処理計画書(実施状況報告書)の作成

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別添内訳書のとおり	
	全処理委託量	別添内訳書 【P】	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	別添内訳書 【Q】	t
	再生利用業者への 処理委託量	別添内訳書 【R】	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	別添内訳書 【S】	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	別添内訳書 【T】	t
	(今後実施する予定の取組) ・優良認定処理業者への処理委託を可能な限り増やしていく。		
※事務処理欄			